

## BECC JAPAN 2023 プログラム

気候変動・省エネルギー行動会議  
事務局 (株)住環境計画研究所  
2023年7月31日作成

- 本会議 2023年8月30日(水)  
於：早稲田大学 西早稲田キャンパス 63号館

時間	プログラム
9:00~9:30	受付(1F エントランス)
9:30~10:00 (30分)	開会挨拶・来賓挨拶(経済産業省、国土交通省、環境省) (2F 教室2)
10:00~11:00 (60分)	基調講演(2F 教室2)
11:00~11:10	休憩(10分)
11:10~12:10 (60分)	ポスター発表セッション①(1F 情報ギャラリー)
12:10~13:10	ランチ休憩(60分)
13:10~14:10 (60分)	スポンサーセッション(2F 教室2)
14:10~15:10 (60分)	特別企画(2F 教室2)
15:10~15:20	休憩(10分)
15:20~16:20 (60分)	ポスター発表セッション②(1F 情報ギャラリー)
16:20~16:30	休憩(10分)
16:30~17:30 (60分)	Policy Garage コラボセッション(2F 教室2)
17:30~17:40	休憩・移動(10分)
17:40~18:40	交流会(1F カフェテリア)

■ ポスターセッション発表一覧

■ ポスターセッション①（11：10～12：10）

発表番号	発表者氏名	発表者所属・役職	発表タイトル
1-1	笹岡恵梨	東京ガス 都市生活研究所 研究員	「環境意識が高い若者」の特徴分析
1-2	松岡佑磨	芝浦工業大学大学院理工学研究科	集合住宅における電力負荷平準化に関する研究
1-3	杉山弦太	早稲田大学大学院 創造理工学研究科 学生	家庭用空調ビッグデータを活用した地域別利用実態の解明
1-4	平山翔	住環境計画研究所 副主席研究員	広報誌を通じた暖房の省エネ行動促進実証
1-5	小林翼	住環境計画研究所 研究員	高効率エアコン導入を促すメッセージの検証
1-6	齊藤瑠加	早稲田大学大学院創造理工学研究科	気象災害時に避難行動を促す文章表現に関する研究
1-7	西尾健一郎	電力中央研究所 社会経済研究所 上席研究員	家庭用給湯分野の CO2 排出削減に向けた課題
1-8	高橋徹	東京都市大学大学院環境情報学研究科 博士後期課程	異なる断熱仕様の団地の温熱環境評価
1-9	久米村秀明	東京ガス 主任研究員	エネルギー意識・実態調査に見る夏季の節電・ガスの節約に関する意識と行動
1-10	鷲津明由	早稲田大学社会科学総合学術院 教授	スマート化は食生活の環境負荷削減に貢献するか？
1-11	糸井川高穂	宇都宮大学地域デザイン科学部 助教	実践型環境教育による省エネルギー行動の誘発
1-12	大竹平雅	早稲田大学創造理工学研究科 学生	子供を主体とした環境配慮行動変容プログラムの開発及び有効性の検証
1-13	平野勇二郎	国立環境研究所 主幹研究員	テレワーク導入シナリオによる CO2 削減効果の評価
1-14	梅原周	大林組(研究当時:九州大学大学院)	スマートフォンアプリを用いたオフィスビルにおける環境配慮行動促進手法に関する研究
1-15	何 清怡	九州大学 学生	アンケートによるオフィスビルでの環境意識と省エネ行動の関係分析
1-16	陳 昱通	九州大学大学院人間環境学府 空間システム専攻 学生	IoT ユニットを用いた室内環境測定・診断および空調エネルギー消費量予測システムの構築

■ ポスターセッション②（15：20～16：20）

発表 番号	発表者氏名	発表者所属・役職	発表タイトル
2-1	澤部まどか	電力中央研究所 主任研究員	光熱費影響等に関するアンケート調査
2-2	原崎ひかり	早稲田大学大学院創造理工学 研究科建築学専攻 学生	住宅性能と居住者の多様性を考慮した冬季の電力不足に備える節電メニューの提案
2-3	中垣藍子	地球温暖化防止全国ネット	「うちエコ診断」データで見える地域家庭部門の排出実態
2-4	赤石記子	東京家政大学栄養学部 准教授	家電製品の省エネ効果の高い使用方法の検証
2-5	鶴見隆太	株式会社日建設計総合研究所 研究員	3D 都市モデル PLATEAU を用いた地域エネルギー マネジメント支援システムの開発
2-6	天野晴子	日本女子大学 家政学部 教授	省エネに資する家庭用蓄電池導入に関する生活者の 意識と行動
2-7	中野一慶	電力中央研究所 社会経済研究 所 上席研究員	住宅用蓄電池や VtoH の導入拡大に向けた情報提 供手法の模擬実証
2-8	坊垣和明	東京都市大学 名誉教授	断熱改修効果と断熱改修動機づけに関する研究
2-9	小林浩人	日本オラクル 日本・アジアパシ フィック担当 Opower ソリューショ ンコンサルティングリード	ネットゼロゴール達成に向けた電気自動車の役割
2-10	木村幸	電力中央研究所 社会経済研究 所 上席研究員	環境に優しい「代替肉」の利用は広まるか
2-11	杉浦淳吉	慶應義塾大学文学部 教授	エコファンディングゲームの開発・実践・評価
2-12	渡邊海人	トインクス イノベーション推進部	学校向け脱炭素 Web アプリの開発と実証について
2-13	伊藤幸彦	GOYOH 代表取締役	オフィステナントの脱炭素化を促進する「ナッジ x デ ジタル」ゲーミフィケーション
2-14	湯浅一史	NTTファシリティーズ 担当課長	オフィスビルにおける社員の省エネ行動変容の実証 試験
2-15	日室聡仁	NEC ソリューションイノベータ株 式会社 主任	ナッジを活用した環境配慮行動の促進